

この地から!

この力!

かきうち きょうた 垣内 響太さん(16)

かきうち えみり 垣内 絵実梨さん(13)

座右の銘: 努力×感謝=無限大

座右の銘: やる気!

加納小校区に住んでいた垣内兄妹。プロの音楽家を目指して兄の響太さんは小4の夏に、絵実梨さんは小5の夏にロンドンでの寮生活が始まりました。そして、2019年のベルギー ブリュッセルで開催された「第12回グレムオー国際バイオリンコンクール」で、響太さんは18歳以下部門で見事優勝、絵実梨さんも13歳以下部門で準優勝を果たしました。世界で活躍するプロの音楽家への道を、一歩一歩歩んでいます。



バイオリンを始めたきっかけは? 父はバイオリン、母はピアノを演奏していました。気づいた時には、もう自分も始めていました。ぼく(兄)は2歳半から。私(妹)は4歳ごろから始めています。音楽は日常のもので、始めるのが普通、当たり前のものでした。

バイオリンを続けて、うれしかったことは? 響太さん: コンサートなどでいろいろな人に聴いてもらえるときです。バイオリンを使って、自分で自由に表現できるその瞬間が、一番楽しいです。納得いく演奏ができるとうれしいです。 絵実梨さん: コンサートの後に、うまくできたことを指導して下さる先生に褒められたときです。がんばってよかったと思います。

大変だ、つらいと思うときは?

響太さん: 難しい技術の習得は、とても大変です。プロのバイオリニストの演奏を見たり、聴いたりして、理想を描いてがんばっています。 絵実梨さん: 家族から「まだまだだね」と言われると、とっても悔しいです。でも、バイオリンが一番自分を表現できるもの。がんばろうと思います。

海外での生活から学んだことは?

響太さん: 問題が起きたときに、どんな人に相談して、どうするとよいか考えること。パスポートの有効期間の残りが3ヶ月未満になっていて、コンクール会場のスイスに出国できず、イギリスの日本大使館に一人で手続きをしたことは忘れられません。 絵実梨さん: 日常の言葉は英語。うまくいかないことが多く大変だけど、演奏の基礎がしっかりできて、前よりも音楽が楽しくなりました。

兄、妹、お互いはどんな存在?

響太さん: よいライバルです。演奏のスタイルがまるで違うので、刺激し合えるからです。 絵実梨さん: 一生のライバルです。私は負けず嫌いで、兄でも負けたくないの、一生懸命練習をします。

これからの目標は?

響太さん: ベルリンフィルのコンサートマスターになって、世界中の人に音楽を届けたい。バイオリニストにとどまらず、音楽家になりたい。 絵実梨さん: ウィーン国立音楽大学という、音楽では世界一の大学で勉強したいです。そして、今教えてもらっている先生のアシスタントとして音楽を教えたいです。

日本を離れて、兄妹が互いに刺激を受けながら、自分の夢に向かってあきらめずに努力し続けている姿は、素晴らしいですね。凱旋ミニコンサートでは、これまで努力してきたことを思い切り表現すると共に、兄妹デュエットでは目と目を合わせて心をそろえて演奏する姿が印象的でした。もっとうまくなりたいと、向上心をもって練習に励む二人。さらなる活躍を期待しています。

優良賞 和田 彩生 「我が家のルール」 「姉弟で協力し合い、認め合う」 「強い絆は気持ちから」

【お詫びと訂正】 egg2019冬号vol.53に掲載した氏名に間違いがありました。お詫びを申し上げますとともに、訂正させていただきます。 富田まこ都さん→富田まこ都さん

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。「家族でふれあう時間を大切にしましょう!」

夏休みの学習スペースに! 岐阜市「学習ルーム」無料! 予約不要! 岐阜市内の自習可能な施設です

編集後記 今号は小中高生のみなさんの活躍と共に、みなさんを支えて下さっている育成者の方々のお話も紹介しています。人と人がつながり合い、支え合う、そんな活動を今後も掲載していきたいです。

egg 小中学生のための地域情報発信誌 201900000 中央青少年学校 1年 中青 太郎

地域で活躍する小中高生の紹介! 育成者のみなさんの願いも紹介! いきいきインリーダー! vol.54 2019.夏号 岐阜市情報発信誌